

令和元（2019）年度資源評価調査報告書

種名	コウイカ	対象水域	唐津湾
担当機関名	西海区水産研究所	参画機関名	佐賀県玄海水産振興センター
		協力機関名	福岡県水産海洋技術センター

1. 調査の概要

・漁業の概要に関する調査

唐津湾関係漁協の仕切り書データ（2019年1月～12月）を収集、整理し、聞き取り調査等を実施して、漁場や漁獲量等の漁業実態調査を行った。

・生物学的特性に関する調査

唐津湾内で漁獲されたコウイカを購入し、精密測定を実施し、生物学的特性に関する調査を行った。

・資源状態に関する調査

漁期終了後、佐賀・福岡両県の唐津湾関係漁協市場の仕切り書データを集計、整理し、資源動向ならびに資源状態に関する調査を行った。

2. 漁業の概要

唐津湾はコウイカ漁の重要な漁場となっており、佐賀県の漁業者は様々な漁業種類によってコウイカを漁獲している。2019年の唐津湾佐賀県海域におけるコウイカの年間漁獲量は6.4トン、そのうち2.4トンが定置網漁業、1.5トンが小型底びき網漁業、0.6トンがいかかご漁業（漁期2～4月）で漁獲されており、年間漁獲量の約70%を占めていた（表1）。

福岡県海域も本種の重要な漁場であり、福岡県漁業者による年間漁獲量は22.1トンで、うち21.3トン（96%）がいかかご漁業（主漁期2～4月）によるものであった。唐津湾全体における2019年の年間漁獲量は28.5トンで、うち佐賀県が22%、福岡県が78%を占めた（表1）。

3. 生物学的特性

イカ類の寿命は基本的に単年で、コウイカも同様である。唐津湾佐賀県海域および福岡県海域で漁獲されたコウイカについて、外套背長組成を整理した（図1）。佐賀県海域では、2～3月に17cm、5月に18cmの比較的大型個体が多くを占めた。福岡県海域では、2月、3月、5月に外套背長13～19cmの個体が多かったが、9月は11cmの小型が中心となり、11月には12cmの個体が多かった。成長は雌雄によって異なり、佐賀県海域では成体の雄は外套背長10.0～25.5cm、雌は10.5～19.0cmであった。

生殖腺指数（GSI）については、佐賀県海域の雄では12月に高い値が確認された（図2）。同海域の雌ではいかかご漁業操業期間中である3月から、5月下旬まで高い値が確認されており、産卵は3～5月頃まで続いている可能性がある。福岡県海域では、雌雄ともに2～5月に高い個体が多く見られ（図2）、この時期が産卵期と考えられた。

4. 資源状態

佐賀県海域における2019年の年間漁獲量6.4トンは、前年比で142%、過去5年平均比で124%といずれも増加した（図3）。同じく福岡県海域では前年比67%、過去5年平均比86%といずれも減少した。

唐津湾全体での1977年以降の長期データが利用可能で、かつ同湾内での本種漁獲量の81%（過去5年平均）を占める福岡県海域での漁獲量によると、突出した1991年と1992年を除いた過去最高値が234トン（1984年）、最低値が14トン（2016年）で、この差の3等分で判断すると、中位と高位の境界値が160トン、中位と低位の境界値が87トンである。この基準に基づくと、2007年から低位となり、その後から現在までの間、資源は低位が続いており、過去5年間の変動傾向に基づくと資源動向は横ばいと判断される。

5. 資源回復に関するコメント

コウイカは、数少ない冬場の漁獲物として重要な魚種である。唐津湾佐賀県海域におけるコウイカの漁獲量は2013年以降減少し、その後増減を繰り返しており、福岡県海域でも2007年以降、低位の状態にある(図3)。佐賀県海域では、2017年に年間漁獲量が約4トンと、過去10年間で最低の漁獲量を記録したが、現在はやや増加傾向にあり、約6トンとなっている。福岡県海域では2016年に過去最低の漁獲量となり、2018年まではやや増加したが、2019年には再び減少した。今後も海洋環境や操業に関する情報を収集し、有効な資源回復の手法を検討することとしたい。

表 1. 2019 年の唐津湾(佐賀県海域および福岡県海域)におけるコウイカ漁獲量(単位:kg)

佐賀県		2019年											
漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
いかかご	4	144	260	192	0	0	0	0	0	0	0	0	600
さし網	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型定置網	44	444	580	776	332	128	8	0	0	4	8	48	2,372
小型底びき網	68	0	140	292	364	108	4	0	0	64	228	264	1,532
その他	4	160	674	618	232	32	0	68	40	12	0	16	1,856
総計	120	748	1,654	1,878	928	268	12	68	40	80	236	328	6,360

福岡県		2019年											
漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
いかかご	0	5,996	8,325	6,591	368	12	0	0	0	0	0	0	21,292
さし網	8	12	40	72	144	166	16	0	0	0	0	0	458
小型定置網	0	4	0	47	7	0	0	0	0	0	0	0	58
小型底びき網	0	0	0	0	80	24	0	0	4	55	58	2	223
その他	0	0	0	0	51	7	0	0	0	0	0	8	66
総計	8	6,012	8,365	6,710	650	209	16	0	4	55	58	10	22,097

両県合計		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
		128	6,760	10,019	8,588	1,578	477	28	68	44	135	294	338	28,457

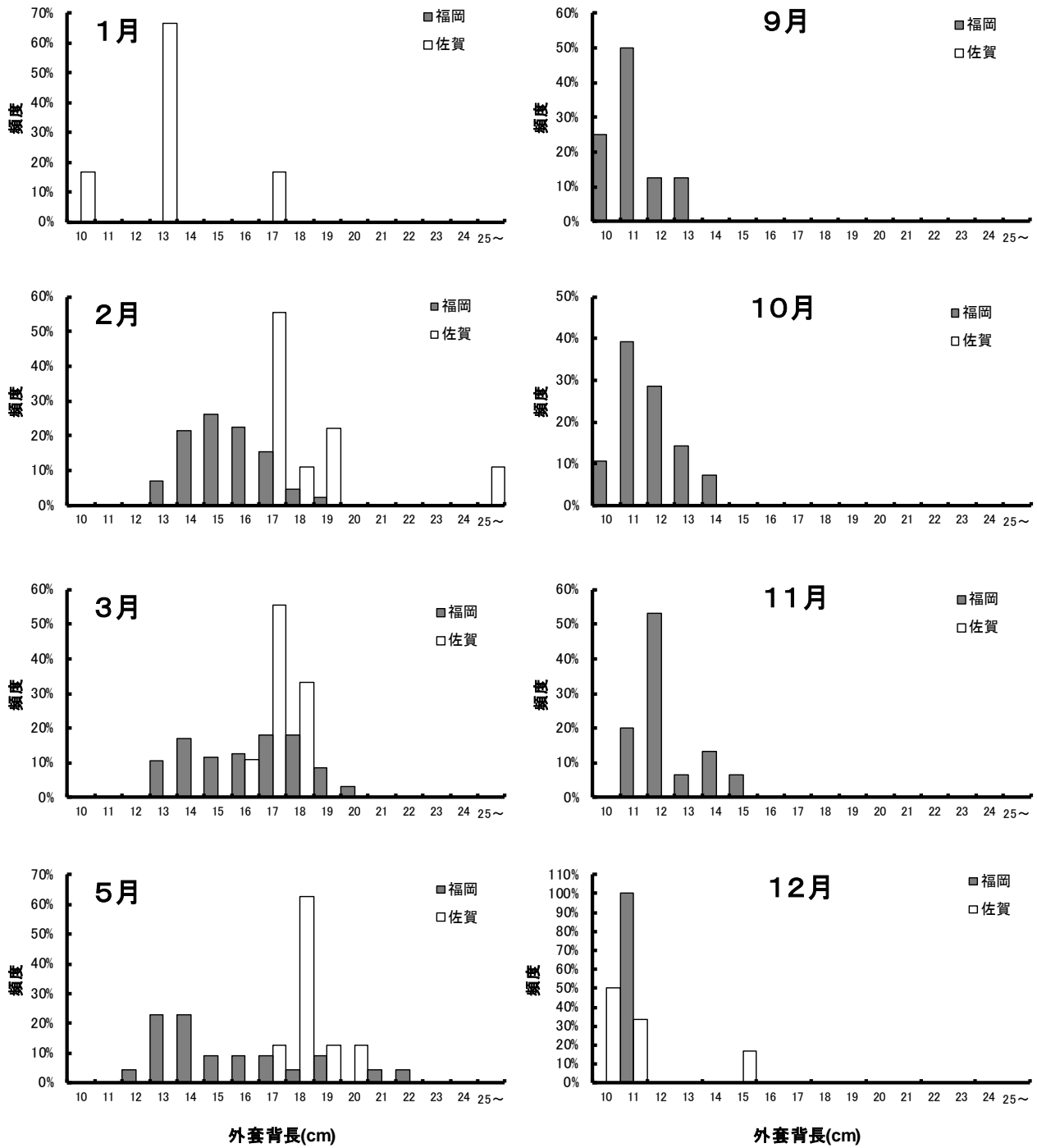


図1. 唐津湾(佐賀県海域および福岡県海域)におけるコウイカ外套背長の推移(全漁業種)

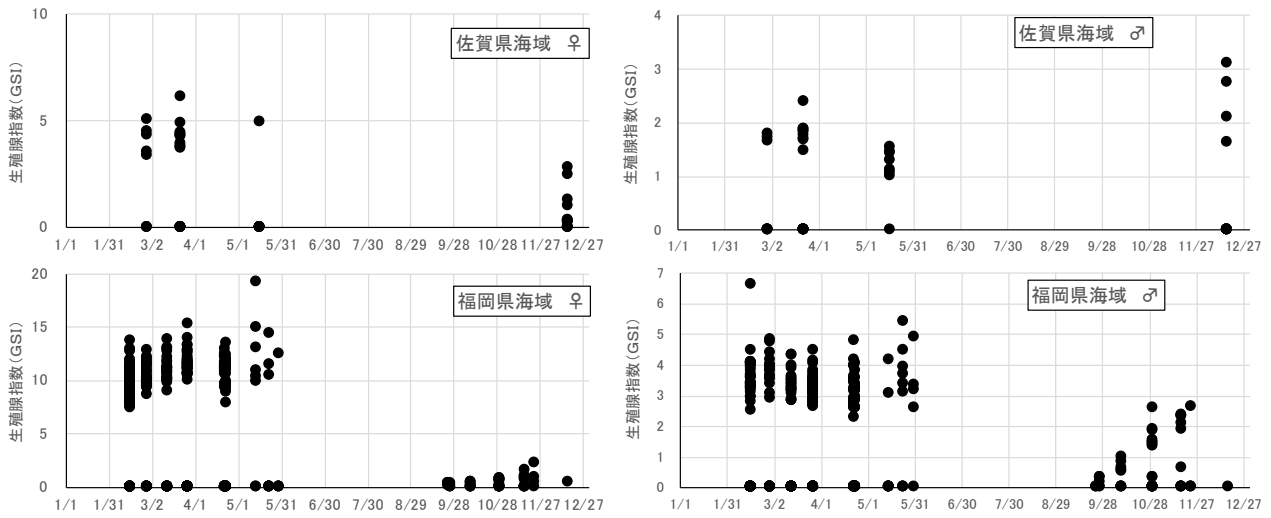


図 2. 唐津湾佐賀県海域および福岡県海域における雌雄別コウイカ生殖腺指数 (GSI) の推移(全漁業種).

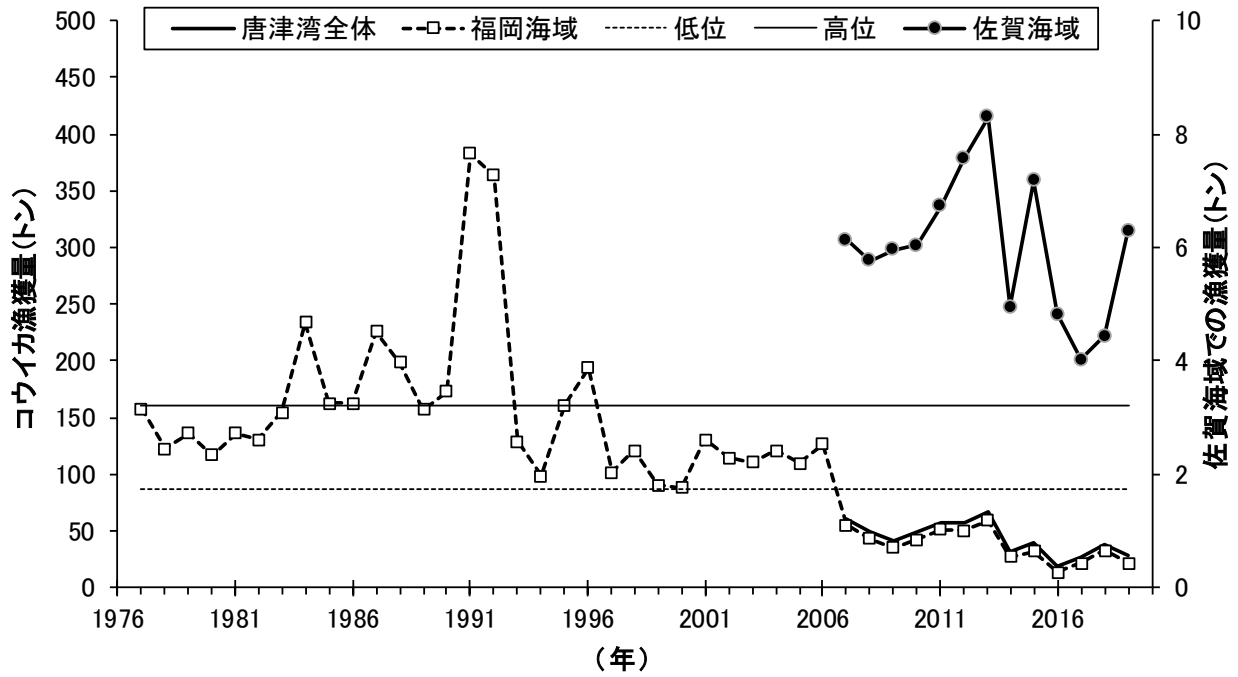


図 3. 唐津湾の県別コウイカ漁獲量の推移(全漁業種)、および突出した1991年と1992年を除いた福岡県海域漁獲量の過去最高と最低との差の3等分による高位と低位.